

ハンズオンおよびチュートリアルセッション

会場：11号館 108教室（H5のみ 8号館 834）

※大会参加費が必要（有料）です

※要事前申込（空席がある場合は当日可）

申込先等は、各項の文末参照

ハンズオン…H チュートリアル…T

【20日（土）開催】

H1 9:00～10:40 「QGISハンズオン」

T2 14:00～18:00

「mapillary & OpenStreetMapによるマイクロマッピング」

【21日（日）開催】

H3 9:00～11:00 「わかりやすい地図の作り方」

H4 12:20～14:00 「SfM写真測量によるマッピング」

H5 14:20～16:00 「Pythonを使って作業の効率化を図ろう！」

【20日（土）開催】

◆ H1 QGISハンズオン ◆

オーガナイザー：大伴真吾

（朝日航洋株式会社/FOSS4G分科会）

20日（土）9:00～10:40 / 11号館 108

世界的に普及しているオープンソースデスクトップGIS QGISの基本的な操作を中心としたハンズオンを行います。これからGISを始める方、この機会にQGISを使ってみたい方、あるいは、QGISの可能性を探りたい方にお薦めです。

使用するQGISのバージョンは3.2を予定しておりますが、当日までに新しい製品がリリースされていればそれを使用いたします。

なお、このハンズオン時の説明はWindows版QGISを使用いたします。その他のOSのQGISのサポートができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

参加を希望される方は、テキストを準備する都合で、事前申込を行った上で、当日はQGISをインストールしたパソコンコンピュータの持参をお願いいたします。会場の席に空きがある場合には、飛び入り参加も歓迎いたします。

申込およびお問合せ先：<https://goo.gl/forms/Tuf1ly0Llg5cCaqE3>

◆ T2 mapillary & OpenStreetMapによるマイクロマッピング ◆

オーガナイザー：西村雄一郎

(奈良女子大学/OSGeo財団日本支部/OSMFJ)

20日（土）14:00～18:00／11号館 108

オープンな地理情報に対する社会的な必要性が高まる中、それらを市民が自ら作成する VGI（ボランタリーな地理情報）への注目が高まっている。この企画では、前回の GIS 学会のハンズオンセッション行った「OpenStreetMap マッピングパーティ in 宮城大学」の続編として、オープンなストリートビュー作成プロジェクトである mapillary と VGI の世界的・中核的プロジェクトのひとつである OpenStreetMap を連携させ、双方のデータ作成・編集を行うハンズオンを実施する。特に、「マイクロマッピング」という一般的な地図では描かれることが多いミクロスケールの地物の地理情報の作成を目指したマッピングパーティを実施し、障がい者の移動にとって必要な情報の収集を行う。

申込およびお問合せ先： nissy_yu@cc.nara-wu.ac.jp

【21日（日）開催】

◆ H3 わかりやすい地図の作り方 ◆

オーガナイザー：桐村喬（若手分科会/教育委員会）

21日（日）9:00～11:00／11号館 108

誰でも手軽に GIS を使えるようになり、様々な分野の研究論文で GIS で作った地図が使われています。また、論文だけでなく、日常生活の様々な場面でも GIS で作った地図を見る機会が増えています。GIS の操作手順を間違わなければ地図が作れます、どんなふうに表現すれば地理情報を適切に表現できて、意図を正確に伝えることができるのか、といった技術や知識は、地図に関する専門的な教育を受けないとなかなか身に付けることはできません。

このセッションでは、GIS を使う上で陥りがちなよくある失敗に注目しながら、わかりやすく、適切な地図の作り方について紹介し、地図表現に関する基礎知識を身に付けることを目標にします。取り扱う内容は、地域・用途に応じた投影法の選び方や階級区分図での色・ハッチの使い方、カルトグラムの活用法などで、これらに留意しながら実際に GIS ソフトで地図を作っていきます。なお、利用する GIS ソフトは ArcGIS または QGIS です(どちらでも参加できます)。

申込先： <https://goo.gl/forms/cpQVEQA3MvdtKgb83>

お問合せ先： t-kirimura@kogakkan-u.ac.jp

必要なもの：

ArcGIS (ArcMap) または QGIS がインストールされた PC

※ ESRI ジャパン株式会社のご協力により、ArcGISについては、

講習会用の一時的な無料ライセンスもご用意できます。

※ 電源、インターネット接続については会場で用意します。

定員： 20名

※ GIS の基本操作を習得済みの方（非会員の方も参加可能）

◆ H4 SfM 写真測量によるマッピング ◆

オーガナイザー：内山庄一郎（防災科学技術研究所）

21日（日）12:20～14:00／11号館 108

SfM (Structure from Motion) 写真測量とは複数の写真から被写体の形状を復元する技術です。特に、無人航空機（ドローン）による撮影と調和的です。SfM 写真測量により、オルソモザイク画像（写真地図）や DSM（数値表面モデル）を作成することができます。ハンズオンでは、技術の概要と使いこなすコツを解説し、写真の撮影からオルソモザイク画像の出力までの最も基礎的な一連の作業を行います。

申込およびお問合せ先： uchiyama@bosai.go.jp

当日持参するもの： ノート PC (Win/mac) と電源アダプタ

◆ H5 Python を使って作業の効率化を図ろう！ ◆

オーガナイザー：土田雅代（ESRI ジャパン株式会社）

講師：福井智康、丸山誠（ESRI ジャパン株式会社）

21日（日）14:20～16:00／8号館 834

Python を利用することで、ArcGIS の GUI 上で行っている反復的な作業をプログラムで自動化することができます。Python を使用して ArcGIS でどんなことができるか知りたい方、また、python のアドインを作成してみませんか？

当日は、ArcGIS がインストールされた首都大学東京の PC 教室を利用します。筆記用具のみお持ちください。

申込およびお問合せ先： masayo_tsuchida@esrij.com